

令和5年5月22日（月）

【問い合わせ先】

広島サミット県民会議事務局

（県民会議分）事業推進課 平野（電話 082-225-8186）

（開催都市分）事務局次長 埴田（電話 082-225-8158）

G7広島サミットで来広した各国首脳等に 県民会議から贈呈品をお渡ししました！

G7広島サミットの開催に伴い来広した各国首脳等へ歓迎の意を表するとともに、広島の魅力を国内外へ発信するため、贈呈品をお渡ししました。

1 G7首脳、EU議長及び委員長宛て

(1) 広島サミット県民会議からの贈呈品

【品物】陶芸作品（花瓶）

【作品名】象嵌彩窯変 海老 花瓶

【制作者】今井政之（広島県名誉県民、文化勲章受章者）

【サイズ】幅 14cm 奥 14cm 高さ 23.5cm

【梱包】・有栖川文様の綿布（デザイン：今井政之氏）

・府中桐箱 …制作：浦上桐工芸株式会社

（府中市）

・阿字和紙 …制作：一般社団法人協和元気

センター（府中市）



〔選定理由〕

工芸技法のひとつである「象嵌（ぞうがん）」を広い面に展開する「面象嵌」にまで発展させるなど、日本における文化の向上・発展に貢献した功績が極めて顕著であることから今井政之氏に贈呈品の制作を依頼しました。また、今井氏は瀬戸内の生き物をモチーフとした作品を多く手掛け、平和を願う作品も制作されています。

〔本作品について〕

本作品のモチーフである海老は、古くから不老長寿の象徴として縁起がいいものとされており、また、脱皮を繰り返して成長する様子から常に柔軟に世界の平和と地球の保全に力を結集していただきたいとの願いが込められています。

なお、今井政之氏は本作品の制作に全身全霊を傾けてこられました。2023年3月の作品完成直後に逝去され、この作品が今井氏の絶作となりました。

(2) 開催都市からの贈呈品

【品物】 広島漆芸の作品（酒器セット）

【作品名】 伝（でん）

【制作者】 高山尚也

※「広島漆芸-高山尚也」として「ザ・広島ブランド」認定

【サイズ】 片口 幅 17cm 奥 10cm 高さ 14cm

おちょこ 幅 6 cm 奥 6 cm 高さ 4.5cm

円板 幅 27cm 奥 27cm 高さ 1 cm



(写真提供：NAOYA TAKAYAMA)

〔選定理由〕

浄土真宗の信仰が盛んな広島で漆塗り等の技術が発展した広島仏壇は日本の伝統芸術が集約されたものであり、その高度な技術が活かされたものとして、広島漆芸の作品を選定しました。制作は、技術力や独自性に加えて、意匠性でも高く評価されている高山尚也氏に依頼しました。高山氏がこれまでに制作された作品は「ひろしまグッドデザイン賞」の受賞や、広島の工芸品として「ザ・広島ブランド」の認定を受けています。

〔本作品について〕

本作品の形は平和の象徴である「鳩」を、色は広島が世界に誇る美しい「瀬戸内海」を表現しています。各国首脳の方々が、鳩をイメージした酒器から注がれた酒を飲みかわし、語り合っ理解を深め合えれば、世界に平和が訪れるのではないかという想いが込められています。

※ G7首脳、EU議長及び委員長に対してのみ、広島サミット県民会議及び開催都市からそれぞれ贈呈しました。

2 招待国首脳及び国際機関の長宛て

【品 物】 玉鋼ペーパーナイフ

【作品名】 和永（わながく）

【制作者】 三上貞直

※広島県無形文化財保持者認定（日本刀製作技術）、無鑑査刀匠

【サイズ】 全長 22cm（握り部分 10cm、刃先部分 12cm）

【梱 包】 ・府中桐箱 …制作：浦上桐工芸株式会社（府中市）

箱書：〔表（作品名）〕 広島県立熊野高等学校芸術類型
書道コースのみなさん（熊野町）

〔裏（作者名）〕 三上貞直氏自書

・眞田 紐 …製造：有限会社藤井リボン工場（福山市）

・手ぬぐい …製造（折り鶴レーヨン）：山本株式会社（広島市）

デザイン：木版アートユニットポロンパ（北広島町）

型染め：有限会社豊栄堂染工場（北広島町）



〔選定理由〕

古くから日本では、「邪を破り、未来を切り開く」力がある刃物を贈ることは縁起がよいこととされており、日本刀の技術により制作されたペーパーナイフを贈呈品として選定しました。制作については、広島県無形文化財保持者、かつ刀匠の最高位ともいわれる無鑑査刀匠でもある三上貞直氏に依頼しました。

〔本作品について〕

本作品は日本刀の原料となる「玉鋼」を使用して制作されたものです。日本刀の魅力や強さは、様々な性質の鋼の個性を生かしながら一振りの刀にまとめて作られていることによるものだとして三上氏は考えており、様々な性質の鋼の個性を生かした日本刀と同じように、お互いの性質を認め、協力し合うことができる平和な世界の実現への願いが込められています。

※ ウクライナ大統領にも本作品を贈呈しました。

3 各国先遣隊代表者宛て

サミット開催前に各国先遣隊（本国政府の関係者）が広島を訪れた際にも、広島の魅力をお伝えするため、県民会議から先遣隊代表者へ広島の伝統工芸品である銅蟲のビアカップをお渡ししました。

【品物】伊久馬ビアカップ つぼ型（大）

【製造元】株式会社西井製作所（海田町）

【サイズ】高さ 8.5 cm 口径 6.7 cm 容量 280ml



（写真：株式会社西井製作所ホームページ）

〔選定理由〕

銅蟲は広島で発祥した銅細工で、一枚の銅板を成形し表面に槌で槌目模様を施し稲わらでいぶして着色するもので、先人の高い技術力は世界に誇れるものであるため、選定しました。株式会社西井製作所では、機械加工で培った技術、そして伝統的な手作業を融合させ、素材が持つ美点を余すことなく引き出した銅細工を制作しています。

4 参考

贈呈品としてお渡ししたものについては、ホームページでも内容の紹介を行うとともに、後日作成する記録誌にも掲載する予定です。



広島サミット県民会議公式ホームページ
（各国首脳等への贈呈品）

本資料に掲載している画像の提供を希望される場合は下記連絡先までご連絡ください。

TEL : 082-225-8189 / MAIL : jigyo@hiroshima-summit2023.jp

【別紙 贈呈品の包装について】

県民会議から各国首脳等へ贈呈品をお渡しするにあたり、包装にも広島県の特産品等を活用しましたのでご紹介します。

○府中桐箱

桐箱は調湿性や防火性に優れ、虫もつきにくいことから、日本では古くから大切なものを保存するのに使われてきました。桐箱づくりは広島県府中市が全国に誇る伝統産業の一つです。今回使用した桐箱は、明治から150年以上続く歴史をもつ浦上桐工芸株式会社の高い技術により制作されたものです。

○阿字和紙

江戸時代初期から昭和にかけて広島県府中市阿字地区を中心に栄えた伝統工芸品です。戦後になり洋紙が普及し、1968年に一度紙漉きの歴史は途絶えましたが、現在、一般社団法人協和元気センターにより、伝統文化の復活に向けたプロジェクトが進んでいます。

○熊野筆（箱書きで使用）

昭和50年に国の伝統的工芸品に指定され、その技術を生かした画筆や化粧筆など多様な筆が熊野町内で生産されています。その熊野筆を使用し、県立熊野高等学校芸術類型書道コースのみなさんに、招待国首脳への贈呈品の箱書きをしていただきました。

○眞田紐

通常の織物の何倍もの緯糸で織るため伸びにくくとても丈夫な眞田紐は、主に茶道具の桐箱の紐として使われます。繊維の町として知られる福山市にある有限会社藤井リボン工場で作られたものをペーパーナイフの持ち手に使用しました。

○手ぬぐい

手ぬぐいの素材である折り鶴レーヨンとは、広島平和記念公園や長崎平和祈念公園、沖縄のひめゆりの塔に贈られた折り鶴を再生パルプに加工したものと木材パルプを混合し、製造したレーヨン糸です。山本株式会社では、この糸からタオル等を製造しており、今回は折り鶴レーヨンの手ぬぐいを招待国首脳への贈呈品を包む布として使用しました。

柄は、ペーパーナイフが制作された北広島町在住の木版アートユニット ポロンパにデザインいただきました。モチーフはしめ縄とし、細部の部分を見た時に、瀬戸内海の波をイメージする形としました。色は、八幡湿原でこの時期咲き誇る杜若をイメージしています。

染色は、神社の奉納幟や大漁旗、神楽幕などを多く制作してきた有限会社豊栄堂染工場に依頼し、古くから「ハレ」の日に掲げられた染物の技術（型染）により仕上げました。

○折り鶴再生紙・折り鶴再生和紙

平和記念公園の「原爆の子の像」には、国内外から年間約1,000万羽、重さにして10トン以上の折り鶴が捧げられており、そこに託された思いを昇華させるため、回収された折り鶴が再生紙としてリサイクルされています。株式会社文華堂及び木野川紙業株式会社で製造されたものに、各作品の解説等を記載し、贈呈品とともにお渡ししました（各国先遣隊代表者宛てのものを除く）。